

# カミノトピックス

## 森のなかで・・・

今回、『レストラン 桂木の森』様をご紹介します。

今月の3月2日にリニューアルオープンしました。2階建ての建物で1Fは釣具店、2Fがレストランになります。オーナーは細矢和夫様で、現在はパートの方2人と3人で営業しています。

メニューは中華料理が中心ですが、その中でのおすすめメニューは、「シェフの日替り(こだわり)メニュー/桂木セット」です。とてもボリューム満点でお客様からは好評だそうです。今後は様子を見て他のメニューも増やしていくそうです。また、ご予算に合わせて宴会(4名~20名様)・オードブル・ご会合も受け承っているそうです。ご要望がありましたら是非、相談してみてください。

まわりは自然に囲まれて、これからの季節は川のせせらぎが聞こえ、まるで森の中で食事をしているような雰囲気。支笏湖方面にドライブに行った際にも気軽に寄ってみてはいかがでしょうか？

(談・W.F・佐藤)



●住所:千歳市桂木5丁目4-4  
☎:(0123)42-3502

●営業時間 11:00~16:00(ラストオーダー 15:30) / 17:00~19:00(ラストオーダー 16:30)  
4月より毎週月曜日が定休日になります

## 冬の出来事・・・

3月も押し迫った最終週に除雪車が入るような今シーズンの冬は、お正月明けまでは雪の少ない落ちついた日々でしたが、その後は例年とは打って変わって身に凍みる寒さと積雪量の多さにビックリし唖然となったシーズンになりました。

地球温暖化が叫ばれて久しいなか、逆行するような気象現象は何かの前触れなのか、若しくは自然のいたずらなのかわかりませんが、弊社では本社とkapass店で時期を同じくして雪害に遭ってしまいました。

本社では、週明けの月曜日に2階会議室がプール状態になるほどの天井からの雪解け水による水漏れ事件。応急処置はしましたが雪が溶けてからの復旧となる予定です。

原因は雪による屋根のゆがみによって屋根と雪の間に水が溜まったらしいのですが、朝一番で見つけた社員は飛び上がるほどの衝撃を受けたとか受けなかったとか・・・。

程なくして今度はkapass店での出来事が・・・。

昭和44年に現在の店舗になって以来初めて起きたのですが、裏の家との間で屋根の雪どおしがお見合いをしてしまい安定した状態で氷の塊になってしまいました。

雪の重さで屋根がつぶれる状態になり急遽業者さんに頼んで雪落としをしましたが、大掛かりな作業とその後の復旧を見るにつけ、「人に危害が及ばずに良かった」というのが正直なところでした。

まだ両方とも復旧工事はしておりませんが、このようなことは二度と起きては欲しくないものだと願っております。

(談:神野)



Kapass店の作業風景・・・高所車を使つての作業となりました  
部厚い雪の層となり、まるで流水が屋根の上にあるような状態に、作業する方も命がけとっていました

早いものでもう4月です。

やはり日本では4月といえば年度の変わり目。卒業・進学・就職といった方も多いようで、新しい出発に心を新たに  
する文面をTwitterやMixiなどでもたくさん見かけました。

新たな期を迎えるにあたって必要なものといえば、なんといっても手帳ですよね。私も学生の頃、毎年この時期に新  
しい手帳を選ぶのがとても楽しみでした。新しい手帳がどんどん使い込まれて、使い終わった後に、1年の思い出を  
振り返ることができる手帳は、私にとってなくてはならない大切なものでした。

近年は予定だけでなく、家計や健康状態なども書き込める大きめの手帳が若い女性を中心に人気だそうで、見た目が  
かわいい上に書き込みやすい手帳がたくさん販売されています。

私事ですが、先日、従姉妹が大学進学ということで、進学祝いを贈る機会があったのですが、何が欲しいか聞いたと  
ころ、『かわいい手帳と新しい筆記用具』とのことでした。近年は、若い人はスマートフォンなどでスケジュール管理  
する人が多いのかと思っていましたが、手帳は開くだけで月間や週間予定が一覧できるし、手帳に大切なものを挟め  
ておいたり、手で書き込むことで愛着が湧くとの事。モバイル化が進んでも手帳が売れ続けている理由はそういうこ  
とだったんですね。

見た目重視の手帳に対して、筆記用具はとにかく使いやすいものをとのことだったので、代表的なパイロットの「ド  
クターグリップ」、三菱鉛筆の「ジェットストリーム」、そして、一度マーカーしてもこすって消せるパイロットの「フ  
リクションライト」を選びました。学生にとって筆記用具はずっと付き合っていく相方のような存在。どれもはっき  
りとした書き味と書いている時の滑らかさが私のお気に入り、ずっと使い続けていって欲しいという願いを込めて  
贈りました。

私も入社して1年が過ぎました。まだまだ未熟者ではありますが、お客様と  
接する中で、新商品がどんどん発売される中でも、思い入れの深い1つのも  
のを使い続ける人は多いんだなと感じています。少なからず自分だけのお気に入り  
を持つ。ずっと大切にできる文房具との出会いが、これから新生活を始める  
人たちの喜びの1つであり、それが愛着となりいろいろな場面で活躍する。  
私たちに少しでもそのお手伝いができたらと願っています。（談：J.R・輪島）



当社の決算月は9月ですが、一番の繁忙期は3月です。

昨年は3.11の東日本大震災で一時陸の孤島のような状態で荷物の入荷が遅れたり、製造工場等が被災してしまい  
商品の供給に時間がかかるなど、お客様には大変ご迷惑をおかけしました。

今年は厳しい経済状況のなか、どんな繁忙期を迎えるのか全く予測不能でしたが、新設中学校や官庁関係の大口納品  
を始め、多くのお客様のご支援のおかげで繁忙期を迎えることができました。ありがとうございます。

そのような中、電話、接客対応、配送について、いろいろ貴重なご意見をいただきました。

忙しさや慣れからお客様への対応が中途半端になっていないか、自分のスタイルばかりにこだわり、改善しなければ  
ならないことを忘れていないか、新人や他の人への引継ぎや社内での情報共有に対し曖昧にしていなかったか、これ  
で良いと思うの「思う」だけの行動でお客様に迷惑をかけていないか、一時しのぎの対応だけでその後の対応を中途  
半端にしていけないか、お客様のことより自分のことを先にしていけないか、そして一番肝心な顧客喜点をないがしろに  
していないか。深く考え改めなければならない事ばかりでした。本当に申し訳ございません。

自分たちは「商品をお届け」するばかりでなく、「情報」・

「気持ち」も届けることをしなければいけないと思っていながらも  
なかなかままならず、当社決算までの半年のあいだに、いただいた  
ご意見の反省と改善をどのような行動で示すのか、また今期の会社  
宣言でもある『進取果敢』をどのように行動に移していくのか、  
私たちの真価が問われることになると実感しております。

昔、当社会長に言われた「いくつになっても勉強」

いつまでも皆さまに支持される会社になれるよう、  
個人が、チームで、会社全体で取り組んでいきます。

今後とも忌憚ないご意見をお願いいたします。



今年は商品で倉庫がいっぱいとなり、社員全員  
で商品検品、品揃えをする日が多くなりました  
また、天気に良い日は外で商品を出していると、  
フリーマーケットと間違われたり・・・  
細かい文字や横文字に悪戦苦闘の人、どんな商  
品かわからなく苦闘する人、いろいろでした